

第8回(平成23年度)協会活動有功賞受賞者

協会活動有功賞は、当協会の運営、事業などの活動で顕著な貢献のあった者を表彰することにより、会員の協会活動に対する参加意欲の増大を促すとともに、協会活動の更なる発展を図ることを目的として創設されたものです。

への
やすひこ
紅野 安彦 氏 (岡山大学大学院環境学研究所 准教授)

タイトルサービスの Web 化および保守管理に対する貢献



タイトルサービス小委員会は、当協会学術論文誌編集委員会に所属し、会員サービスの一環として、セラミックス関連の学術論文のタイトルを和訳し公開している。10年ほど前までは、タイトルサービスは学術論文誌紙面上にて掲載されていたが、現在ではネットワーク上で検索可能なデータベースとして利用可能となり、会員各位からの好評を博している。このネットワーク公開にあたり、検索エンジンの作成、保守管理に多大な貢献をして頂いたのが、今回推薦する紅野氏である。紅野氏は10年以上にわたり、システム構築、機能向上、保守・管理を日常的に行い、10万件以上の論文タイトル情報に会員がアクセスできるよう便宜を図っている。本務地である長岡や岡山のみならず、海外出張中でもリモートメンテナンス可能なように設定し、協会(東京)のサーバーをほとんど単独で、不具合やトラフィックを継続的に監視してきた。現在、タイトルサービス小委員会では、商用の検索エンジンへの乗換えが計画されている。現行の紅野氏作成の独自検索エンジンが使われなくなったあとは、同氏の貢献が実感されなくなると考え、今回の推薦に至った。

略歴 平成8年京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了。同年長岡技術科学大学化学系助手。同19年岡山大学大学院環境学研究所准教授。

やじま
よしゆき
矢島 祥行 氏 ((独)物質・材料研究機構 中核機能部門材料分析ステーション 主席エンジニア)

セラミックス認証標準物質の作製及び化学分析方法規格の作成



矢島祥行氏は、昭和49年に無機材質研究所に入所、セラミックスの化学分析を担当し、無機系新素材の研究および合成技術、結晶育成、焼結技術の開発に務めた。同52年より日本セラミックス協会原料部会化学分析分科会天然原料分析研究会に参加し、当時分科会役員であった多田氏、船戸氏、布施氏らとともにジルコンサンド、高アルミナ質窯業原料の化学分析法協会規格作成のための共同実験に参加した。また同55年から同分科会人工原料分析研究会にも参加し、ファインセラミックス用窒化けい素微粉末、炭化けい素微粉末など数々のセラ協規格およびJIS化学分析方法の作成、ならびに協会認証標準物質の作製を行った。このように同氏は30年余の長きにわたり協会化学分析分科会を通じ、セラミックス化学分析技術の向上と発展・普及に大きく貢献しており、協会活動有功賞に十分値するものとして推薦する。

略歴 昭和46年東京都立杉並工業高校工業化学科卒業。同年三井造船エンジニアリング(株)入社。同49年総理府科学技術庁無機材質研究所入所。平成13年(独)物質・材料研究機構研究支援室。同16年共用基盤部門分析支援ステーション主幹エンジニア。同23年中核機能部門材料分析ステーション主席エンジニア。